

授業科目 職業関連作業療法学

【担当教員名】 貝淵 正人		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		◎	
【概要・一般目標：G10】 職業リハビリテーションにおける作業療法の位置づけと意義・役割を理解し、障害者への具体的な訓練の方法を学習する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 職業の意義と職業的発達について説明できる。 2. 障害者の就労についての状況と問題点を述べることができる。 3. 障害者復職関連の評価について施行することができる。 4. ICF を使用し就労支援への技法を施行できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	職業リハビリテーションの定義・概念・歴史			1	担当：貝淵 正人 他
2	GATB・VPI・評価の実施とその解釈			3	担当：貝淵 正人 他
3	内田クレペリン検査・職業レディネスチェックと実施			3	担当：貝淵 正人 他
4	職務分析の演習			1・3	担当：貝淵 正人 他
5	障害者の就労の現状			2	担当：貝淵 正人
6	職業リハビリテーションの関連法規と制度			2	担当：貝淵 正人
7	シングルケース（ICF 使用）にて就労支援の検討			4	担当：貝淵 正人
8	まとめ				担当：貝淵 正人
【使用図書】		<書名>		<著者名> <発行所> <発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		職業リハビリテーションの基礎と実践	日本職業リハビリテーション学会	中央法規出版	2012・3, 150 円
		職業リハビリテーション学	松為信雄、菊池恵美子	協同医学出版	2006・4, 200 円
		重度障害者の職業リハビリテーション入門	南雲直二	荘道社	2010・2, 310 円
その他の資料					
【評価方法】 (1) 出席 2 / 3 以上 (2) 評価施行のレポートおよび職務分析レポートを提出 (3) 期末試験 60 点以上 (1) から (3) まですべて満たした場合に合格とする。			【履修上の留意点】 検査は一斉におこないますので遅刻は厳禁。 環境にも左右される検査もありますので、受講中バズ以外ではむやみに音をたてないように。		